

### 中間発表に関わる意見（事務局からの報告含む）

- ・ 総得票数は 2000 弱なのに、絵本部門はわずか 20 弱の得票数で 1 位となり、一桁の得票数でも TOP10 に入るなど、お気に入りの 1 冊の絵本は予想以上に各人バラバラであることがわかる。（事務局）
- ・ 「ぐりとぐら」などシリーズものの絵本や物語などに投票が集中している。人気があるからシリーズ化されているのだろうし、当然の結果かもしれない。投票結果の集約では、シリーズで一元化してみたが、適切かどうか？ 例えば、ぐりとぐらとクリスマスツリーの絵を描いていても、タイトルは「ぐりとぐらのおきゃくさま」ではなく「ぐりとぐら」と記述している。（事務局）
- ・ このバラバラの得票状況を見ると、シリーズでカウントするほうが、むしろよいと思う。しかし、One Book を決めるときは、その中でも一番人気の絵本を決める必要がある。
- ・ 「絵本でなく幼年童話の“かいけつぞろり”あたりが、一番になるんじゃないかな。」第 1 回の運営委員会での委員の発言どおりの結果となった。小学生くらいの子どもにとっては、絵本と幼年童話の違いはわかりにくいのだろう。しかし、One Book は、絵本にこだわり、投票結果の公表では、今後も番外編として幼年童話等も発表していけばよいと考える。
- ・ 次年度の投票用紙は“えほん”という文字を強調し、“えほん”の中から選ぶことを前面に出す工夫をすればいいのでは。

### 投票促進に関わる取組についての意見

- ・ 西淀川区の絵本展で投票箱を置いた。色鉛筆等筆記具を置くかどうか議論があったが、絵本展の絵本への落書きの危惧があったので置かないと判断した。結果 1 枚も入らず。西淀川図書館では当初、たくさん投票あるかもと白黒ちらしを使っていたが、落書きが多く、投票数は少ない状況。
- ・ 落書きはいけない等エチケットを教えていけばよい。白黒よりカラーのちらしの方が落書きしにくいのでは。今後、中央図書館でのお話し会等で投票を促していきたい。（今まで出来ていなかった）
- ・ 子育て施設へ投票用紙を持って行っている。投票用紙に書名が書けなくてもよいかと訊かれ、本の内容がわかれば良いといったが良かったか？（OK 絵で絵本を特定したりしていません。）
- ・ 学校図書館活性化事業実施校へ行って活動しているが、子どもは絵本と物語の区別がつかない。絵を描いたり折り紙をする時間（2 時間程度）に書いてもらった。幼年童話が多かったが、せっくなのでそのまま提出した。絵本以外の番外編のランキングが出されているので良かった。11 月 14 日・15 日に中央図書館で実施した「おはなしたのしいでえ in Osaka 2009」の催しで One Book の投票ができるようにコーナーが設置されており、親子で投票用紙に向かっておられ

る姿があった。絵本展でもあのようなコーナーを設置すればよかったと思う。これから絵本展を実施される区は考えてみられたらどうか。

- ・ 今度、小学校でボランティアの集まりがあるので、その場で One Book のアピールをしたい。
- ・ 9 月までに大阪市立小学校全校に投票用紙が届いているはずと聞いたが、小学校からの回収状況は？（ 図書館としては把握できていない。読書週間が終わった段階、もしくは、2 月 28 日の終期にいったん届くのではと予測している。）小学校でのおはなし会などに行くなかでアピールをしたらよいのか？（ お願いします）
- ・ 投票用紙に絵を描くことが子どもの負担になっているのではないだろうか？ 絵に自信がない子は投票をしない傾向があると思う。タイトルと数行お気に入りの理由を描くには、この投票用紙は立派すぎる。タイトルだけで投票できるような簡略版ちらし（A5）を作ってはどうか。（ 次年度に向けて検討）
- ・ 「題名だけでもいいよ」と子どもたちに声を掛けてあげてもいいのではと思う。
- ・ 投票用紙や投票箱は小学校や子育て支援施設等だけでなく、書店に置いてもよいのでは？（ 次年度以降の課題）
- ・ 意外にも長谷川（義史）さんの絵本があまりあがっていない。One OSAKA の“大阪”にこだわるのかと予測していた。大人の投票が少ないようだが、みんな 1 冊を決めかねて、どの本に投票するのか慎重になっているのではないか。
- ・ 図書館のホームページのもっと目立つところで、One Book One OSAKA 事業のことをアピールすべき。ニュースやトピックスは文字だけなので目立たず、クリックするまでハードルが高い。
- ・ PDF 等開いてみたら可愛いポスターなのに、トップページにもうひと工夫して、ビジュアル面で目立つように仕向けてはどうか。

## 会議室外（1 階エントランスギャラリーにて、投票用紙を見ながら・・・）での感想

- ・ 区によって、親子の来館や集いが多い区もあるが、子どもの絶対数が少ない区もある。投票数など一律に期待されても困る。柔軟な対応を望む。
- ・ 力作ぞろいの展示の投票用紙を見て、やはり「年齢」の記述が欲しいと感じる。どれ位の年齢層がどの絵本を望んでいるのか、ボランティアとしても知りたい。投票結果を今後の活動の参考としていきたい。
- ・ この展示の投票用紙に描かれている子どもたちの色々な想いを読むにつけ、見るにつけ、絵本との出会いを仲立ちする私たちボランティアは、気が引き締まる思いである。